

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	38° 00' 52.56"		
				経度	140° 23' 20.81"		
境沢橋 (フリガナ) サカイザワバシ		境沢線	宮城県七ヶ宿町字苗代端				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
宮城県七ヶ宿町	2016.07.14	河川	有	一般道		水道管	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	(公社)宮城県建設センター	点検責任者	早坂 伸一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	防食機能の劣化	写真1・主桁01			
	横桁	I					
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	継続的な観察が必要な状態。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	終点  起点
1994年	21.75m	6.10m	


※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

境沢橋

上部構造(主桁、横桁) 【判定区分：Ⅱ】	上部構造(床版) 【判定区分：Ⅰ】
写真1  主桁01	(Blank area with a diagonal line from top-left to bottom-right)
支承部 【判定区分：Ⅰ】	下部構造 【判定区分：Ⅰ】
(Blank area with a diagonal line from top-left to bottom-right)	(Blank area with a diagonal line from top-left to bottom-right)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	38° 00' 21.60"	
				経度	140° 25' 28.42"	
栄広橋 (フリガナ) エイコウバシ	滑塚線	宮城県七ヶ宿町字立平				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
宮城県七ヶ宿町	2016.07.14	河川	有	一般道		水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	(公社)宮城県建設センター	点検責任者	早坂 伸一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	防食機能の劣化	写真1・主桁01			
	横桁	I					
	床版	II	その他(遊離石灰)	写真2・床版02			
下部構造		I					
支承部		I					
その他							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	継続的な観察が必要な状態。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点  終点
1964年	36.65m	3.20m	



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

栄広橋

<p>上部構造(主桁、横桁) 【判定区分：Ⅱ】</p>	<p>上部構造(床版) 【判定区分：Ⅱ】</p>
<p>写真1</p>  <p>主桁01</p>	<p>写真2</p>  <p>床版02</p>
<p>支承部 【判定区分：Ⅰ】</p>	<p>下部構造 【判定区分：Ⅰ】</p>
